

数学

京都大学[理系] (前期)

<全体分析>

試験時間	150	分	解答問題数	6	題
------	-----	---	-------	---	---

解答形式
記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・**増加**)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・**難化**)

出題の特徴

小問 ((1)、(2)) がある問題があった。[3]、[5]は文系と共通。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

「数独」をモデルにした問題があった。近年よく見られた常用対数の評価の問題はなかった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	複素数平面	数学Ⅲ	3次方程式の3解が正三角形の頂点になる	標準
[2]	数列と極限	数学Ⅲ	$ \beta < 1$ に注意して $\sin(\alpha^n \pi)$ を β で表す	標準
[3]	空間ベクトル	数学B	座標の設定の仕方がポイント	やや難
[4]	整数	数学A	整数を3の累乗でくり出す	難
[5]	場合の数	数学A	1行目と1列目の7つの数を定めてから、行の入れ替え、列の入れ替えを考えるとよい	やや難
[6]	積分法	数学Ⅲ	回転体の体積	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

論理的な思考力と論証力を養うこと。誘導の小問がない形で出題されるので、方針を立てることや有効な設定を行うことを意識して、小問を削除した問題で練習しておくのがよい。